

第1回 生活保護受給者の健康管理 マニュアルに関するワーキンググループ	資料1
平成 29 年 10 月 18 日	

## 生活保護受給者の健康管理マニュアルに関するワーキンググループ 開催要綱

### 1. 趣旨

生活保護受給者は、医療保険の加入者等と比較して生活習慣病の割合が高いが、健診データ等が集約されておらず、生活習慣病の予防・重症化予防の取組が十分に実施できていないことから、生活保護受給者に対する健康管理について議論をしてきたところである。平成 29 年 5 月に議論がまとめられたところであるが、健康管理支援事業の対象者と支援方法等の具体的な内容については、今後、実務担当者によってマニュアル作成に取り組むことが必要とされている。

こうした状況を踏まえ、生活保護受給者を対象とした健康管理事業のマニュアル作成のため、関係者によるワーキンググループを開催する。

### 2. 主な検討事項

- ・健康管理の考え方
- ・健診データの入手や対象者の選定方法
- ・健康管理の実施方法・アウトソーシング
- ・体制整備・基盤について 等

### 3. 構成員及び運営

- (1) 各分野の有識者等により構成する（別紙）。
- (2) ワーキンググループは社会・援護局保護課長が参加者の参集を求めて開催する。
- (3) ワーキンググループの庶務は社会・援護局保護課で行う。

(別紙)

生活保護受給者の健康管理マニュアルに関するワーキンググループ  
構成員名簿

近藤 尚己	東京大学大学院医学系研究科准教授
下手 忠	広島市役所健康福祉局地域福祉課保護担当課長
津下 一代	あいち健康の森健康科学総合センター長
中板 育美	日本看護協会常任理事
藤田 恭子	上尾市役所健康福祉部生活支援課副主幹
吉田 澄人	日本医師会総合政策研究機構研究部統括部長補佐

(五十音順)